

## 2020 年度加速器質量分析装置利用(共同利用)採択一覧

\* 所属機関・職名は申請時のとおり

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
岡本 敦	東北大学	准教授	南雅代	小笠原海溝の蛇紋岩体中のアラゴナイト脈の年代測定
嘉幡 茂	京都外国語大学	客員研究員	南雅代	耐久性に優れたピラミッドが開発された理由:古代メキシコ人の世界観と自然災害の相関関係
高橋 浩	産業技術総合研究所	主任研究員	南雅代	水試料の炭素抽出手法改良のための放射性炭素濃度測定
奥野 充	福岡大学	教授	南雅代	アリューシャン列島東部のテフラと考古遺跡の年代研究
森本 真司	東北大学	教授	南雅代	大気中二酸化炭素の放射性炭素同位体比の変動
浅原 良浩	名古屋大学	准教授	南雅代	イラン北西部のTakab-Ghorveh地域のトラバーチンの炭素14分析
小元 久仁夫	元日本大学	元教授	北川浩之	ビーチロック試料の正確な膠結年代決定方法
奥野 充	福岡大学	教授	南雅代	樹木試料による名古屋市と福岡市大気のスース効果の評価
佐藤 亜聖	元興寺文化財研究所	総括研究員	南雅代	加速器を用いた歴史時代火葬人骨の学際的研究